

# 新ロケット金物構法誕生!!

木造住宅開発50年本物の技術は、結果を裏切らない。

## 東日本大震災に耐えたロケット構法の住宅



石巻市 築後15年 津波高4~5m  
(1Fシャッター、サッシ2~3ヶ所破壊有り)

## 独立法人つくば防災科学技術研究所の様子



阪神淡路大震災、818ガルの衝撃。  
その約2倍の激震にも耐えた家とは!

公的機関による  
構造評定を取得

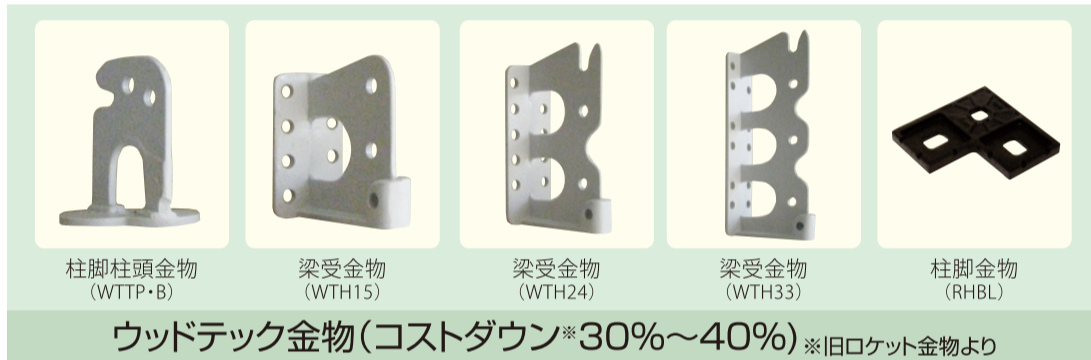


BCJ評定 -LW0018-01  
(財)日本建築センター

25年にわたり、数百体の破壊試験を行い、ご採用いただいた施主様、工務店様、住宅メーカー様の意見をもとに、数々の工夫を加えて改良を重ねてきました。更に今回は加工機械メーカーと相談の上開発を行いました。

## 新ロケット構法

■ 簡単施工・部材が密着する緊結接合、真壁造りに最適



柱脚柱頭金物 (WTPP・B) 梁受金物 (WTH15) 梁受金物 (WTH24) 梁受金物 (WTH33) 柱脚金物 (RHBL)  
ウッドテック金物(コストダウン※30%~40%) ※旧ロケット金物より



柱脚金物 (RK1230) 梁受金物 (RH30K) 梁受金物 (RH39K) 梁受金物 (RH45K)  
ウッドワイスラーメン構法

■ 高強度・高耐久・火災にも力を発揮・安心・安全度最高

ウッドワイスラーメン金物とウッドテック金物では、金物の下部には必ず「受けサポート」を設けています。これは建て方施工時の位置決めを確実にするとともに ①接合部のせん断力を大幅に高める ②ドリフトピン周囲の割れ破壊防止、③初期剛性と地震後の復元力を高める機能を持たせています。また、写真の火災事例では、火災時に金物スリット溝へのファイヤーストップ効果で、倒壊を防いだことが確認されました。また、石巻市の15年前の施工物件では、東日本大震災における大津波での建物の残存も確認されています。



金物スリットのみ部位は崩壊 金物の受けサポートが建物の倒壊を防ぎました 鉄は500~800℃で軟化し、アメのように曲がってしまいます。

■ 国産ムク材対応金物

ロケット(杉・桧・米松KD)として、新ロケットウッドテック金物は、最高の安心安全な商品として発表されました。



ウッドテック金物では杉ムク材を使って、最大荷重87kNでも破壊・割れが起こらない。

■ 政府の援助を受けて、国産金物メーカー8社の商品の強度検査を実施しました。

(杉集成材柱とハイブリッド梁を使い、ハウスプラス確認検査機関にて行った)

ウッドテック金物はせん断試験で最高の強度を得ました。短期基準接合耐力39.2kN



当社以外の金物には致命的な破断の梁・柱の割れが多く発生し不安があります。



## 人と地球にやさしい住まい造りが開始されました。

■ 新ロケット構法による建築が実施されています。



新ロケット構法テラ第1号 2011.1

新ロケット構法2号 静岡市 2011.2

ウッドワイスラーメン 10mスパン利用 宇都宮 2011.5 (武田道場)

磐田市 2011.6 10m・8mスパン利用 150坪 整形外科